

- 生活支援 見守り 協議体
- 買物支援 配達 その他
- 移動支援 居場所づくり

05 地域の助け愛隊（わがえへんのたすけあいたい）

鹿児島市
すこやか長寿部 長寿あんしん課

地域の概要



小山田町は市の北西部に位置し、自然豊かな地域。少子高齢化が進み人口約2,000人、高齢化率が50%を超え空き家や耕作放棄地が多くなっている。

今後、担い手の育成や「お互い様」の心で支え合う地域環境作りが課題となっている。

取組のきっかけ

10年後地域の我々の生活環境はどうなっているだろう。今以上に空き家が増え、地域の防災面や景観なども心配。独居高齢者も増えて、庭先の草刈りなどの手入れや、照明器具の取り換え・電池交換などちょっとした困りごとで不自由な思いをする方が多くなると考え、元氣な今から互いに支えあう関係の構築、共助の志を育もうと声を掛け、賛同者を募った。

取組の目的

- 地域の皆さんが「安心」して過ごせたらとの思いで活動
- 相談は原則として断らない
- 同じ町内会なので顔見知りで安心。「お互い様」の気持ちを大切にしている（近助）
- 自分たちの生活環境は自分たちで守る！

これまでの経緯

年・月	出来事
平成24年5月	東日本大震災を機に自分たちができる事を何かしないと！と被災地支援を目的に地域内の膨大な耕作放棄地を活用し、お米をつくり、販売益で支援しようと「どんこ村開拓団」の設立
	地域内の耕作放棄地の再生、農業体験イベントも並行して実施（田植え、案山子づくり、稲刈り、餅つき大会、小川での魚釣り）し、都市部の子供たちへの情操教育の一助
	多世代交流により、地域の高齢者の生きがいづくりにもつながった
	これらの取組から、地域の事を語る機会が増え、絆が深まり、地域づくり活動の原点となった
平成29年11月	地域の皆さんが安心して暮らせる地域を目指すため『地域(わがえへん)の助け愛隊』設立
平成30年4月	市のモデル事業『生活支援支え手育成モデル事業』に申請
平成31年4月	市の新規事業「支えあい活動補助金」を申請
平成31年6月	鹿児島市支えあい活動従事者研修会(現みんサポ応援講座)を受講
	地域住民で協力しながら高齢者宅の庭の草払い等を中心に生活支援活動を実施

活動の概要

- ◆**活動内容**： 草刈り、剪定、家具家電の移動、家屋の簡単な修繕・補修・ゴミ出し等（営利目的・専門作業・危険作業は行わない。）
原則活動は複数人で実施⇒安全確認も含め生活空間の隣接部までが活動範囲
- ◆**活動範囲**： 小山田町上町内会
- ◆**利用料**： 作業員一人につきワンコイン（500円）
- ◆**対象者**： 地域内住民
- ◆**構成員**： メンバー50名
- ◆**利用人数**： 2017.12月～2022年度末まで延べ68戸に延べ375人で対応

息の長い活動にするため補助制度に頼らない組織に！！
いつかは支えられる側となる「お互い様」の繰り返し。
支えあう地域づくりを次世代へ継承していきたい。

取組における行政担当者・生活支援コーディネーターとしての役割

〔行政担当者としての役割〕

- 事業の枠組み、仕組み作り
- 周知広報(HP等に事業内容掲載)
- 担い手育成
(支えあい活動従事者研修会実施)

〔SCとしての役割〕

- 活動に関する相談
- 活動状況の把握
- 支援が必要な方とのマッチング
- 補助金に関する事務手続きのサポート

現時点での到達点（効果・課題など）

〔効果〕

- 活動をすることによって、利用者、活動者共に笑顔が増えたこと。

〔課題〕

- 特になし

